

## 平成30年 第12回京丹後市教育委員会会議録

- 1 開催年月日 平成30年8月1日(水)  
開会 午前10時00分 閉会 午前10時43分
- 2 場 所 大宮庁舎 4階 第5会議室
- 3 出席委員名 吉岡喜代和 野木三司 久下多賀子 田村浩章 安達京子
- 4 説明者 教育次長 横島勝則 教育理事 上田隆嗣  
教育総務課長 岡野 勲 学校教育課長 松本晃治  
子ども未来課長 小西智恵子 生涯学習課長 引野雅文  
文化財保護課長 吉田 誠
- 5 書 記 教育総務課長補佐 田村真知子
- 6 議 事
  - (1) 議案第67号 『「暗やみに光を灯した人」杉原千畝』の開催に係る後援について
  - (2) 報告第10号 公益財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について  
【追加議案 議案第68号】
  - (3) 議案第68号 第1回野村克也杯学童野球大会『夢に向かって走れ』の開催に係る後援について
- 7 そ の 他
  - (1) 諸報告
    - ① 「共催」・「後援」に係る7月期承認について
  - (2) 各課報告
    - <学校教育課・子ども未来課>
      - ① 8月学校行事予定について
      - ② 8月こども園・幼稚園・保育所行事予定について
    - <生涯学習課>
      - ① 2018京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会～メロンカップ～について(8/5)
      - ② 宝くじふるさとワクワク劇場 in 京丹後について(8/18)
      - ③ 京都: Re-Search2018in 京丹後について(8/20～9/2)
      - ④ 第53回人権教育研究京丹後市大会について(8/21)

⑤ 丹後半島ラリー2018 について (8/25.26) (7/15)

8 会 議 録 別添のとおり (全14頁)

10 会議録署名

別添の会議録は書記が記載したものであり、別添記載の正確であることを認めここに署名する。

平成30年8月29日

教 育 長 吉 岡 喜代和

署 名 委 員 久 下 多賀子

〔招集者〕 京丹後市教育委員会教育長 吉岡喜代和

〔被招集者〕 野木三司 久下多賀子 田村浩章 安達京子

〔説明者〕 教育次長 横島勝則 教育理事 上田隆嗣

教育総務課長 岡野 勲 学校教育課長 松本晃治

子ども未来課長 小西智恵子 生涯学習課長 引野雅文

文化財保護課長 吉田 誠

〔書記〕 教育総務課長補佐 田村真知子

#### 〈吉岡教育長〉

おはようございます。ただ今から「平成30年 第12回教育委員会定例会」を開会致します。

全国では、6月の地震、7月初めの大雨、先日の台風12号により大きな災害が発生しており、多くの方がお亡くなりになるとともに被災されています。亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されました方にお見舞いを申し上げます。また、暑い中の作業が続いています。一刻も早い復興を願っているところです。

岡山の方で災害にあわれた方も、自分のところで災害が起きるとは思っていなかったため避難が遅れたというような報道がされていましたが、災害はいつどこでどのような形で起こるかわかりません。教育委員会も多くの子どもたちをお預かりしていますし、多くの施設を所管していますので、日頃から、災害に対する危機管理の必要性を改めて認識しているところであり、学校等に子どもがいる場合、いない場合など、その状況により対応も変わってくると思いますので、再度、職員内で確認をするよう指示しているところです。

また、大変暑い日が続き熱中症も心配しており、学校には何度も注意喚起の通知等を行っているところですし、生涯学習課で今週と来週に予定していました子どもキャンプは、対象が小学生であることや、宿泊を伴うことなどから、熱中症対策のため中止をしました。毎年、このような暑さがあるようでしたら、事業内容の見直しも今後検討せざるを得ないかもしれないと思っています。

7月15日、21日～23日は丹後ブロック中学校総合体育大会がありました。私も短時間ではありますが、全ての競技を参観させていただいています。多くの競技で府下大会への出場があり、結果は、陸上競技女子の部で峰山中学校が優勝、体操男子の部で

は網野中学校が準優勝、野球でも峰山中学校がベスト4に入るなど、子どもたちが暑い中、頑張っている姿は素晴らしいというふうに思っています。

全国学力学習状況調査の結果が今朝の新聞に掲載されていましたが、本市の状況は、中学校では全教科とも全国平均を上回っていますが、残念ながら小学校は、いくつかの教科で全校平均を若干下回ってしまい、厳しい状況もあります。特に気になるのが、学校間の格差が大きいことです。学力学習状況調査が学力の一側面であることは認識していますが、各学校では結果の分析を徹底的に行い、学力向上に向け、児童への指導や授業改善に学校全体で取り組むことを改めて指示したいと思っています。

中学校が上回っていることについては、小中一貫教育で学力向上の取組を進めている中であり、その成果が表れてきていると思っていますが、気を緩めることなく、進めていきたいと思っています。

また、市全体の結果については、指導室で分析を行い、従来どおり広報でお知らせをしたいと思います。

教科用図書採択地区協議会は、先月の27日に続いて本日の午後もお世話になりますが、よろしくお願い致します。

本日は、『「暗やみに光を灯した人」杉原千畝』の開催に係る後援について」をはじめ3議案の審議を予定しています。

どうぞよろしくお願い致します。

<吉岡教育長>

それでは、平成30年第11回教育委員会（7月定例会）開催後の諸会議、行事等を中心に、教育長報告をさせていただきます。

#### 【教育長活動報告】

<吉岡教育長>

以上です。ご質問等がありましたらお願いします。

<全委員>

なし。

<吉岡教育長>

それでは、本日の会議録署名委員の指名を致します。

久下委員を指名しますのでお願い致します。

それでは、お手元の会議次第に沿って議事を進めさせていただきます。

<吉岡教育長>

議案第67号「暗やみに光を灯した人 杉原千畝」の開催に係る後援についてを議題とします。

事務局から提案理由の説明をお願いします。

<引野理事兼生涯学習課長>

議案第67号「暗やみに光を灯した人 杉原千畝」の開催に係る後援について、説明をさせていただきます。

この事業は、広島県福山市にあります「ホロコースト記念館」が、昨年、開設から10周年を迎え、「ホロコーストの学び・教育センター」として新たなスタートを切ったことを記念し、新たな企画として、「暗やみに光を灯した人 杉原千畝」特別展示会を、全国展開するというものです。

内容は、ユダヤ人大量虐殺、ホロコーストの暗闇の中で、ユダヤ人に希望の光を灯した日本人外交官、杉原千畝の生涯を、展示パネルで紹介するというもので、展示を通して、平和と人権の大切さを訴えるという目的で開催されるものです。

開催期間は、本年9月21日から9月23日までの3日間、会場は与謝野町字岩滝のベテル協会、入場無料で、対象は、伊根町、与謝野町、宮津市、京丹後市の中高生及び大人となっています。

主催はホロコースト記念館、共催は杉原千畝展実行委員会、後援は、文部科学省、法務省、外務省、日本ユネスコ国内委員会、日本PTA全国協議会などとなっております。

申請者は、ホロコースト記念館 館長 大塚 信 氏です。

以上、ご審議のほど、よろしくお願い致します。

<吉岡教育長>

議案第67号の説明をさせていただきました。

ご質問、ご意見等がございましたらお願いします。

<野木委員>

この催しは、展示をするだけで、何か講演があるとかいう話ではないのですね。

<引野理事兼生涯学習課長>

計画書を拝見しますと、講演とかいうことは特にないように思います。展示だけです。

<野木委員>

そうでしたら、児童生徒たちに、別段車を出してそこに移動していただくとか、そういう話ではないわけですね。

<引野理事兼生涯学習課長>

そのような計画は今のところ考えていません。

<田村委員>

チラシを持って帰らせるとか、そういう告知等は学校にはあるのでしょうか。

<引野理事兼生涯学習課長>

今のところ、そういうチラシを児童生徒に配布してくださいというような依頼もありませんので、特に考えていません。

<田村委員>

細かいところですが、後援依頼申請書の方の対象は「中高生及び大人」となっていて、事業計画書の対象者は「小学校高学年から一般」となっているのですが、これはもちろん小学生が見ても分かりやすいような展示になっているのですね。

<引野理事兼生涯学習課長>

展示内容の詳細が分かりかねるのですが、確かにこの申請書の対象者の記載が少し合わないところがあったのでどうかなと思いますが、小学校高学年からというふうにしてある資料もあるので、たぶん分かってもらえるような内容ではないかなと考えています。

<吉岡教育長>

それではお諮りを致します。議案第67号「暗やみに光を灯した人 杉原千畝」の開

権に係る後援について、承認にご異議ございませんか。

〈全委員〉

異議なし。

〈吉岡教育長〉

異議なしと認め、承認致します。

〈吉岡教育長〉

次に、報告第10号「公益財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について」を議題とします。

事務局から説明をお願いします。

〈引野理事兼生涯学習課長〉

報告第10号「公益財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について」説明させていただきます。

京都府丹後文化事業団は、平成25年4月1日から公益財団法人として運営をしていますが、地方自治法第243条の3第2項の規定により、市が資本金等を2分の1以上出資している法人については、毎事業年度、経営状況を説明する書類を作成し、議会に提出しなければならないこととなっており、9月の市議会定例会で提出する予定としているため、事前に教育委員会に報告をさせていただくものです。

お配りしております、事業報告及び決算書をめくっていただきまして、1ページに平成29年度の実施事業について記載があります。

主な事業ですが、丹後地域の芸術文化団体の育成のため、「丹後文化芸術祭」として「第33回丹後吹奏楽フェスティバル」など8事業を実施し、各種文化芸術団体に出演していただいています。

次の、自主・共催事業では、「丹後映画大好き劇場」を5回開催したほか、「なつかしの映画上映会」、宝くじ文化公演「アルフレッド・ハウゼ タンゴ・オーケストラ」、「TOKYO スーパーイリュージョン」、「京都写真芸術家協会展」、「谷村新司トーク&ライブキャラバン ココロの学校」、「文化庁文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業を活用した丹後ミュージカル『乙姫ものがたり～浦島伝説より～』」、以上11事業を開催し、いずれも来場者の好評をいただいております。

次に平成29年度の決算状況ですが、各種補助事業を活用した事業の実施、会館の稼

働率及び入場料収入などの事業収益金の確保、歳出では、各種団体との連携による事業の実施や経常経費の削減を図るなどの経営努力を続けており、4年連続の黒字決算ということで、4ページの中ほどに当期経常増減額ということで411,444円となりましたが、財政状況について引き続き厳しいものがあります。

平成30年度におきましても、本市の文化のまちづくりの中心としての役割を担い、人の心を豊かなものにする文化芸術活動を推進し、関係機関と連携したまちづくり、地域づくりにつなげていきたいと思っています。以上です。

<吉岡教育長>

報告第10号を説明させていただきました。

ご質問、ご意見等がございましたらお願い致します。

<野木委員>

市の財政が非常に厳しく、いろいろな事業も予算が削られるという状況が生まれている中で、まだ30年度の予算の方はしっかり見ていないのですが、この文化事業団に対する支援と言いますか、予算というのは、ずっと一定の額なのか、減額になっているのか、最近の傾向としてはどんな塩梅なのでしょうか。

<引野理事兼生涯学習課長>

市の補助金につきましては2,700万円ということで、29年度も30年度も同額ですし、28年度も同額ということで推移しています。これは文化芸術を鑑賞する貴重な機会を設けていたり、市民の文化芸術活動の発表の場を設けたりということで、非常に大事な事業を行っていただいていますので、厳しい財源の中ですけれども、補助金は同額で推移しているということです。

<野木委員>

ありがとうございます。

是非、厳しい中でもその予算をずっと続けてほしいと思いますし、できれば1割2割でもアップできるような、そういう考えで市の方もいてほしいなと思っています。どうしても、こういった文化とかそういうものに関するものは赤字になったとかよく聞くのですが、それはある意味いたしかたない部分があるように思っています。それは、ずっと黒字を出しているということで、住民としては少しほっとする部分もあるのですが、赤字を恐れて内容がおろそかになると言いますか、低いレベルのものではなくて、今ずっとやられていることというのは非常に私も評価している、そういった取組をされていますので、是非、文化という部分に関しては、しっかり予算付けをしていただいて、今



と同じかそれ以上のものを皆さんで推進してほしいなと思っています。活動に関しては、私もよく見させていただいたり、参加させていただいたりして、評価しているつもりですのでよろしくをお願いします。

<吉岡教育長>

続きまして、追加議案を1件準備しております。

議案第68号「第1回野村克也杯学童野球大会『夢に向かって走れ』の開催に係る後援について」を議題とします。

事務局から提案理由の説明をお願いします。

<引野理事兼生涯学習課長>

議案第68号「第1回野村克也杯学童野球大会」の開催に係る後援について、説明をさせていただきます。

この事業は、郷土の誇りである、元プロ野球選手・監督である野村克也氏のベースボールギャラリーが、本年3月にオープンしたことを記念するとともに、野球を通して青少年の鍛錬と健全育成を図り、友情・親睦を深めること、また、「夢」に向かって努力していくことを伝えること、そして、将来に向けた人材育成を目的に開催されるものです。

大会は、8月17日（金曜日）の夜にアミティ丹後で開会式を行い、翌18日（土曜日）から19日（日曜日）に、峰山総合公園内の京丹後夢球場で開催され、市内の学童野球チーム8チームが参加予定です。

主催は野村克也杯学童野球大会実行委員会、共催は丹後中央ライオンズクラブ、後援は、京丹後市、京丹後市野球協会、京都府軟式野球連盟丹後支部の予定となっております。

申請者は、野村克也杯学童野球大会実行委員会 会長 石田 直規 氏です。

以上、ご審議のほど、よろしくお願い致します。

<吉岡教育長>

議案第68号を説明させていただきました。

ご質問、ご意見等がございましたらお願い致します。

<野木委員>

野村克也さんが、野村克也杯というものをやっても良いよという、子どもたちの要望の中で生まれてきた大会だと思えますが、その中で、主催は実行委員会というふうになっていますが、この組織図を見ていると、丹後中央ライオンズクラブさんのメンバーの

方々のように思うのですが、異議があるとかそういうことは全くないですが、丹後中央ライオンズクラブというと峰山・大宮の方々の集まりの会だと思ってしまうのですが、久美浜とか網野とか他の町の組織とかそういう所の方々はこの中には入っていないのでしょうか。

<引野理事兼生涯学習課長>

この組織図を見させていただき限り、先ほど申されました竹野郡や熊野郡のライオンズのメンバーは組織には入っておられないということですが、参加されるチームはもちろん市内全域を対象にされるということだと思います。

<野木委員>

この大会の受け皿と言うか主催をするのが、たまたまライオンズクラブのメンバーの方々が受けて会を立ち上げてこれを運営していこうということですよ。何が言いたいかというと、丹後全体で盛り上げるというようなニュアンスで私は野村さんと子どもたちのトークを聞いていたものですから、一定の団体が主催を今後ずっとしていくのかな、それで野村さんの思いと合致するような大会になるのかな、なれば良いなということをおもったものですから、質問させていただきました。返答は結構です。

<吉岡教育長>

暫時休憩します。

— 休憩 —

<吉岡教育長>

休憩を閉じて再開します。

それではお諮りを致します。議案第68号「第1回野村克也杯学童野球大会『夢に向かって走れ』の開催に係る後援について」につきまして、承認にご異議ございませんか。

<全委員>

異議なし。

<吉岡教育長>

異議なしと認め、承認致します。

<吉岡教育長>

以上で本日の議事はすべて終了致しました。

続いて、4のその他ということで諸報告、各課報告を順次お願い致します。

(1) 諸報告

<横島教育次長>

① 「共催」・「後援」に係る7月期承認について

(2) 各課報告

<学校教育課・子ども未来課>

① 8月学校行事予定について

② 8月こども園・幼稚園・保育所行事予定について

<生涯学習課>

① 2018京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会～メロンカップ～について(8/5)

② 宝くじふるさとワクワク劇場 in 京丹後について(8/18)

③ 京都：Re-Search2018in 京丹後について(8/20～9/2)

④ 第53回人権教育研究京丹後市大会について(8/21)

⑤ 丹後半島ラリー2018について(8/25.26)

<吉岡教育長>

全体を通して、何かご質問等がありませんか。

<田村委員>

今月も共催・後援に係るたくさんの申請があるのですが、以前久下委員さんもおっしゃいましたが、一度教育委員会の後援を承認したものについては、申請をした時点でオッケーというような流れになっているのですか。

<横島教育次長>

申請があがってきたら、受付けをさせていただいて、過去に共催や後援実績があるかどうかというのをチェックして、実績がある場合は今年もそういう形で処理してよろしいかという伺い文書が回り、教育長までの決裁をいただいて、実績があるからという形で定例会の報告事項にあげさせていただいています。実績がない場合は、各課がきちっ

とこの教育委員会へ議案としてあげて、審議をしていただく、そういう区分けをさせていただきます。

<田村委員>

過去に1回実績がある場合も、この教育委員会の結果を踏まえてオッケーですよという通知を送るのですか。

<吉岡教育長>

この時点では、もう許可は出ています。

<田村委員>

オッケーですということですね。

<吉岡教育長>

はい。

<田村委員>

過去にあっても、それぞれの年によって予算規模ですとか事業内容が多少違ったりするので、久下委員さんもおっしゃったように、結果どうだったかというような報告をしっかりとあげてもらって、計画をしていただきたいと、要望ですが申し上げたいと思います。

<横島教育次長>

基本的に、実績報告書をきちっといただくことになっていきますので、どういったことをされたかということを確認しながらという、その部分は押さえていますので、当然そういうことも考えながら次回につなげていくという形は取らせていただいています。

<吉岡教育長>

事業実績が気になるような事業があれば、結果を説明させていただきますので、また言っていただいたらどうですかね。これから実施される事業でも良いですし。

<田村委員>

見せてくださいと言えば見せてもらえるのですね。

<吉岡教育長>

はい。

<田村委員>

分かりました。

<吉岡教育長>

松本課長、学校行事予定表は、学校以外の行事でも学校を使用していたら載せていますか。例えば網野カップが載っていますが。

<松本学校教育課長>

学校を使うということで、行事予定表を載せているのと、一部の学校が参加をしまするので、そういう意味で載せています。

<吉岡教育長>

学校として参加をするのですか。

<松本学校教育課長>

学校として参加します。網野中学校も網野カップに出ます。

ただこれは、会場を使うということで北小の行事としてあげています。

<吉岡教育長>

知らない人が見たら、網野北小が参加するみたいに見える。「盆野球」も丹後中学校が参加しているのですか。

<久下委員>

参加しています。中学生も出ています。

<松本学校教育課長>

それは中学校としてではなくて、中学生も一緒に出ているということではなかったでしょうか。

<久下委員>

いいえ、中学校チームを作って出ています。

<松本学校教育課長>

丹後中学校として出るのですか。

<久下委員>

はい。中学校としてでています。丹後中学校という名称で出ますね。ばらけている子もいるかも分かりませんが。

<吉岡教育長>

学校として出ているのなら良いと思いますが。

<松本学校教育課長>

網野カップの場合は会場が北小になっていますので、言われるように北小が網野カップをというふうな見立てもできると思います。

<吉岡教育長>

誤解されてしまうかも知れませんね。

<松本学校教育課長>

会場：網野北小ということ、表記に注釈を入れさせていただきます。

<吉岡教育長>

京都：Re-Search の申込書ですが、これは、特定の人にだけこのパンフレットは出て

いるようですが、一般の人はこのパンフレット自体、全然見ていないわけですね。

<引野理事兼生涯学習課長>

このパンフレットは、どういう範囲で配布されているのか今は分からないですけど、あまり広くは出ていないと思います。

<吉岡教育長>

芸術家みたいな人にだけ、京都府の方が出しているということでしょうか。

<引野理事兼生涯学習課長>

そうですね。そういう施設なのか、団体なのか、そういう芸術家の方に届くようにたぶん配布されていると思います。

<田村委員>

もう選考結果は出ていますよね。

<引野理事兼生涯学習課長>

昨日聞いたら、まだ選考中だというふうに言われていました。

<吉岡教育長>

申込みは終わったけど、まだ誰ということまで決まっていけないのでは。

<田村委員>

結果通知は7月27日と書いてあります。

<吉岡教育長>

本当ですね。それならもう出ていますね。

<引野理事兼生涯学習課長>

そうですね。

<吉岡教育長>

京都府と京丹後市の関係が、実際の取組の中で、京丹後市がすごく弱いような感じがします。どういう形になっているのか、途中の段階でも今こういう状況ですと報告を受けた方が良いでしょうがします。

<吉岡教育長>

他にないようでしたら、以上で第12回京丹後市教育委員会定例会を閉会致します。ご苦労様でした。

<閉会 午前10時43分>

[ 8月臨時会 平成30年8月27日(月) 午前10時00分から ]

[ 9月定例会 平成30年9月 3日(月) 午後 2時00分から ]